１．はじめに

南九州大学 FD 推進委員会は、平成 21 年度に発足して以来、FD にかかわる各種事業の推進と情報公開、南九州短期大学 FD 推進委員会との情報共有を行っています。平成 29 年度からは、SD の義務化に伴って新たに組織された南九州学園 SD 推進会議の一員として、職員資質向上推進委員会とも連携し、大学教育の質保証の充実化と発展のための基盤づくりが行われてきました。

令和元年度は、これまで実施してきた各事業の継続を進めながら、実施の過程で見えてきた課題に対処すべく委員会で協議検討し、「授業評価アンケートの実施（前・後期各１回）」、「参観授業（後期１回）」、「ＦＤ講演会／研修会の実施（各１回）」、「卒業予定者満足度調査の実施（後期）」を行いました。例えば、授業評価アンケートを受けた教員の書式を「所見報告書」として、良い工夫や方法に関する所見も含めた報告書とし、学科・センターおよび事務局で共有することとしました。また、授業評価アンケートの実施範囲を非常勤講師にも拡大し、全学的な教育活動のレベルアップを図りました。なお、これまで FD 活動の一環として実施してきた「新入生魅力度調査」については、調査内容が教員の授業力向上を目的とする FD 活動の趣旨と必ずしも一致しないことから、今年度は「卒業予定者満足度調査」のみ実施し、その結果を各学科と学園全体で共有しています。

最後に、令和元年度の FD 推進活動にご理解とご協力、また貴重なご意見をいただいた全教職員の皆様に、心から感謝申し上げます。

令和２年３月
令和元年度南九州大学 FD 推進委員会
委員長 山口健一

令和元年度　南九州大学 FD 推進委員会委員（部門内五十音順）

環境園芸学科	管理栄養学科	食品開発科学科	子ども教育学科	教養・教職センター
山口健一	川北 久美子	寺原 典彦	鳴海 正也	スモール・ブライアン
岡島 直方	小松 洋一	岡崎 善三	趙 雪梅	

大学院	事務局（宮崎）	事務局（都城）
岡島 直方	赤木 裕美	猪股 浄文
	飯原 薫	水渕 美香
	小林 明子	阿部 秀

２．FD 推進委員会開催報告

令和元年度は、下記のように 3 回の FD 推進委員会を開催しました。会場はすべて以下のとおり。

なお、適宜メール会議で情報を共有した。

- 宮崎キャンパス：本館 2 階応接室
- 都城キャンパス：本館 1 階多目的会議室（TV 会議）

第 1 回 FD 推進委員会

日　程：令和元年 6 月 17 日（月）
時　間：16:30～17:25
出席者：[宮崎]4 名 [都城]8 名
欠　席：[宮崎]3 名 [都城]なし

審議事項：

- 1）本年度の FD 推進委員会の進め方について
- 2）本年度の事業計画について
- 3）前期授業評価アンケートについて
- 4）今後の FD 活動事項について

報告・連絡事項：

- 1）その他

第 2 回 FD 推進委員会

日　程：令和元年 7 月 10 日（水）
時　間：17:00～17:20
出席者：[宮崎]6 名 [都城]7 名
欠　席：[宮崎]1 名 [都城]1 名

審議事項：

- 1）FD 講演会の実施について

報告・連絡事項：

- 1）その他

第 3 回 FD 推進委員会

日　程：令和元年 11 月 12 日（火）
時　間：16:30～17:20
出席者：[宮崎]6 名 [都城]5 名
欠　席：[宮崎]1 名 [都城]3 名

審議事項：

- 1）後期授業評価アンケートの実施について
- 2）卒業予定者満足度調査の実施について
- 3）授業参観について
- 4）前期授業評価アンケートについて
- 5）FD 活動の情報収集について

報告・連絡事項：

- 1）ＦＤ講演会実施報告
- 1）事業予算について

３．後期授業参観報告

令和元年度においても、教員の授業の教授法改善等を目的として、後期に参観授業を実施した（令和 2 年 1 月 14 日から同月 27 日)。実施要領を以下に示す。

後期授業参観実施要領

目的

教員の授業の教授法改善等を目的として実施する。

対象授業

管理栄養学科 2 科目、食品開発科学科 2 科目、子ども教育学科 2 科目、環境園芸学科 2 科目、教養養育センター1 科目の合計 9 科目を対象に参観を行った 。

実施手順

- 実施期間内にて対象授業の参観を実施する。
- 参観者は教室内で対象授業の参観を行い、参観レポート（添付資料）を記入する。
- 参観は業務等の関係もあるので教員への参加強制はしないが、できるだけ多くの教員に参加してもらう。
- 参観レポートは、各キャンパスの「学生支援課」窓口へ提出する。取りまとめ後に参観授業の担当教員へ渡す。

後期授業参観報告

後期授業参観については、以下をご参照ください。

令和元年度授業参観スケジュール

●実施期間:令和元年1月14日(火)～　1月27日(月)

学科/センター	教員氏名	実施日	時間	科目名	受講者(学年)	教室	備考
環境園芸	新谷　喜紀	1月　23日(木)	1-2限目	自然環境実習	48人 (2年生)	都城キャンパス (2102)	
	日高　英二	1月　24日(金)	2限目	樹木医学	47人 (2年生)	都城キャンパス (1205)	
管理栄養	山内　美智子	1月　21日(火)	1-2/3-4 限目	給食経営管理論実習Ⅰ	32人・33人 (2年生)	宮崎キャンパス (1106)	
	長友　多恵子	1月　20日(月)	3-4限目	食事計画論実習Ⅰ	32人 (2年生)	宮崎キャンパス (1117)	
食品開発科学科	外山　英男	1月　14日(火)	1限目	生物学概論Ⅱ	16人 (1年生)	宮崎キャンパス (1411)	
	紺谷　靖英	1月　16日(水) 1月　23日(水)	1限目	栄養学Ⅱ	47人 (3年生)	宮崎キャンパス (1403)	
子ども教育	金子　幸	1月　21日(火)	3限目	教職実践演習(幼・保)	26人 (4年生)	都城キャンパス (小児保健実習室)	ワークショップ、ロールプレイに学生と共にご参加いただきます。
	藤本　朋美	1月　15日(水)	1限目	保育内容指導法(言葉)	43人 (2年生)	都城キャンパス (2101)	
教養教職	スモール, ブライアン	1月　20日(月)	4限目	英会話Ⅰ	55人 (1年生)	宮崎キャンパス (1217)	

授業参観の手順

①参観者は、**参観後**アンケート**を**記入して各キャンパスの学生支援課に提出。

②各キャンパスの学生支援課にてアンケートの控えを取り、ＦＤ推進委員会に提出、保存。

③各キャンパスの学生支援課から、授業を担当した各教員にアンケートを渡す。

４．授業評価アンケート報告

令和元年度においても、教員の教授法改善や授業に対する満足度の把握等を目的とした「授業評価アンケート（前期・後期）を実施した。各学科のアンケートの実施結果は以下のとおりである。

授業評価アンケート実施要領

目的

教員の授業の教授法改善や学生の授業に対する満足度の把握等を目的として実施した 。

対象

専任教員については、原則として 1 教員 1 授業以上とする。なお、非常勤講師のアンケート実施については、今年度は単独で授業を実施している全教員を対象とした。

実施時期

前期および後期の授業で 実施することを原則とした。

使用するアンケート用紙及び所見報告書

学生のアンケート結果をもとに、教員に「所見報告書」の作成と提出を求めた 。

実施要領

- （1）学生支援課より、各教員に「実施する授業名」及び「アンケート実施時間（授業前か後か)」を案内する。各教員は学生支援課が指定する期日までに授業名及び実施時間を回答する。
- （2）学生支援課員は、事前に受講学生分のアンケート用紙を準備する。
- （3）アンケート実施当日、学生支援課員はアンケート用紙を授業時間（授業開始後又は終了前）に配付し、教員はアンケートの目的等について学生に説明を行う。説明した後、教員は教室から退出する。
- （4）学生支援課員は対象科目の授業時間（授業開始後又は終了前）に待機し、アンケート終了後に回答用紙を回収する。なお、都城キャンパスは学生支援課員少ないため、他部署職員も担当する。
- （5）アンケートの結果は、学生支援課を通じて各教員へ報告が行われる。各教員は集計結果・自由記述欄の結果をもとに所見報告書を作成し、FD 推進委員長へ報告書を提出する。また、今年度は、委員会で確認の うえ 学科・センターおよび事務局にて共有することを通して報告書の有効活用を図った 。

アンケートの集計

アンケートの集計は外部に委託する。

授業評価アンケート報告（前期・後期）

令和元年度授業評価アンケートの結果と評価については、以下をご参照ください。

令和元年度前期　授業評価アンケート集計結果（南九州大学）

対象学科	科目	教員	計	記述有
環境園芸	蔬菜園芸総論	川信修治	54	18
環境園芸	植物生理学	山口雅篤	28	6
環境園芸	環境緑地論【B班】	北村泰一	32	9
環境園芸	植物分子育種学	陳蘭庄	14	4
環境園芸	環境保全型農業論	山口健一	67	3
環境園芸	景観論	平岡直樹	42	1
環境園芸	農業経済学	姜暻求	15	7
環境園芸	作物学各論I	廣瀬大介	7	1
環境園芸	微生物学Ⅰ	菅野善明	44	5
環境園芸	敷地計画論	関西剛康	31	2
環境園芸	昆虫学/自然と昆虫	新谷喜紀	75	3
環境園芸	種苗生産学	長江嗣朗	68	3
環境園芸	果樹園芸総論	前田隆昭	53	12
環境園芸	樹木学	日髙英二	31	2
環境園芸	基礎製図演習	岡島直方	20	0
環境園芸	園芸植物育種学概論	杉田亘	55	4
環境園芸	園芸療法論	林典生	60	11
環境園芸	世界の庭園と歴史	牧田直子	18	3
管理栄養学科	臨床栄養学Ⅲ	甲斐敬子	61	9
管理栄養学科	調理学実習	杉尾直子	64	0
管理栄養学科	栄養教育論実習Ⅰ	渡邉純子	64	4
管理栄養学科	からだと疾病Ⅰ	小川恒夫	49	0
管理栄養学科	生化学Ⅰ	生地暢	65	4
管理栄養学科	食品学Ⅰ	竹之山愼一	67	20
管理栄養学科	総合演習	山内美智子	65	2
管理栄養学科	臨床栄養学Ⅰ	村上真珠美	63	11
管理栄養学科	公衆栄養学Ⅱ	長友多恵子	60	4
管理栄養学科	応用栄養学Ⅱ	小松洋一	64	7
管理栄養学科	からだと栄養Ⅰ	川北久美子	49	0
管理栄養学科	公衆衛生学	木村志緒	63	0
教養・教職センター	体育実技【女子】	西村盛正	28	2
教養・教職センター	特別活動論	岩田賢士	30	2
教養・教職センター	宗教学	長友泰潤	31	3
教養・教職センター	中等教科教育法・理科Ⅰ	秋山繁治	9	0
教養・教職センター	農業政策論Ⅰ	章大寧	44	23
教養・教職センター	生涯学習概論	植村秀人	19	1
教養・教職センター	英語コミュニケーションⅠ	スモール, ブライアン	102	13
子ども教育	教科教育法（図画工作）	古賀隆一	32	8
子ども教育		財部盛久	－	－
子ども教育	教職概論	澁澤透	47	7
子ども教育	教科教育法（体育）	宮内孝	34	13
子ども教育	理科	遠藤晃	6	0
子ども教育	社会的養護	若宮邦彦	22	1
子ども教育	保育内容指導法（音楽表現）	早川純子	27	8
子ども教育	肢体不自由児教育総論	野村宗嗣	25	9
子ども教育	知的障害児教育	鳴海正也	19	1
子ども教育	数学と文化	趙雪梅	5	0
子ども教育	子どもと地域	山田裕司	48	2
子ども教育	教育の方法と技術	五十嵐亮	46	3
子ども教育	教科教育法（社会）	酒井喜八郎	34	14
子ども教育	国語	藤本朋美	46	4
子ども教育	保育原理	金子幸	50	1
食品開発科学科	食品加工学	山下博	35	3
食品開発科学科	有機化学総論	寺原典彦	29	9
食品開発科学科	フードスペシャリスト論	外山英男	30	7
食品開発科学科	微生物学	紺谷靖英	31	8
食品開発科学科	食品学Ⅱ	中瀬昌之	39	1
食品開発科学科	食品開発科学概論	岡崎善三	31	10
食品開発科学科	パン・菓子製造学	矢野原泰士	28	0
			2,375	308

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

全体集計	南九州大学	
全ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	2,375	（人）
実施教員数	58	（人）

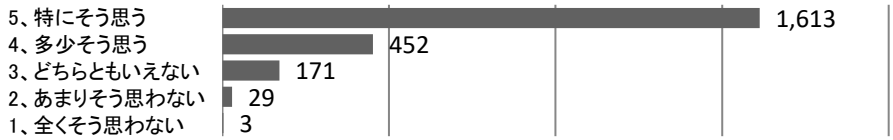
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	1,613	452	171	29	3	2,370	4.41	未回答 5
②	451	565	878	173	200	2,367	3.25	未回答 6
③	669	772	648	122	51	2,362	3.67	未回答 11
④	1,391	518	298	47	14	2,370	4.23	未回答 5
⑤	1,181	590	353	107	37	2,370	4.04	未回答 5
⑥	1,640	437	151	25	13	2,368	4.42	未回答 7
⑦	1,294	563	329	54	22	2,364	4.16	未回答 11
⑧	1,457	548	233	19	8	2,367	4.32	未回答 8
⑨	890	852	421	76	24	2,365	3.93	未回答 10
⑩	1,274	648	285	38	17	2,364	4.19	未回答 11
⑪	1,123	727	336	53	25	2,366	4.08	未回答 9

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

全体集計	南九州大学	
全ｱﾝｹｰﾄ回収数	2,375	人（枚）
実施教員数	58	人

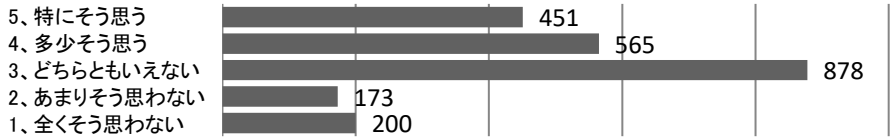
学生の授業取り組みに関する質問

設問1） 私はこの授業によく出席した



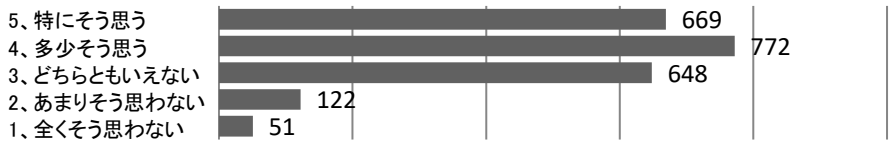
回 答 数 2,370 人
未回答 5
平 均 値 4.41

設問2） 私は授業内容について質問や発言をした



回 答 数 2,367 人
未回答 6
平 均 値 3.25

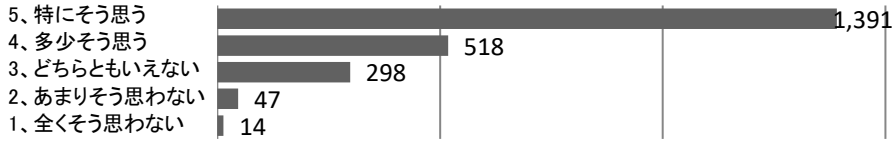
設問3） 私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）



回 答 数 2,362 人
未回答 11
平 均 値 3.67

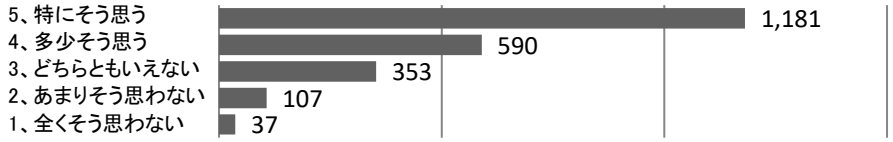
教員の授業実施方法に関する質問

設問4） 教員の声は聞き取りやすかった



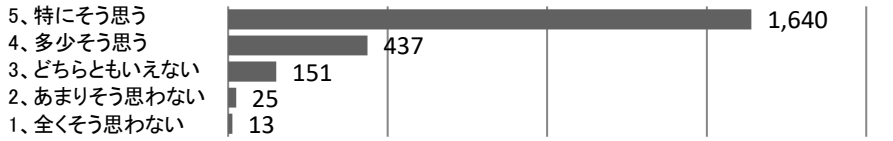
回 答 数 2,370 人
未回答 5
平 均 値 4.23

設問5） 教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回 答 数 2,370 人
未回答 5
平 均 値 4.04

設問6） 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた

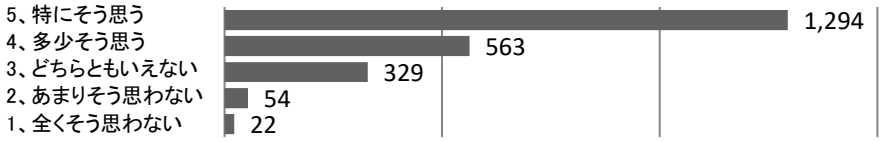


回 答 数 2,368 人
未回答 7
平 均 値 4.42

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

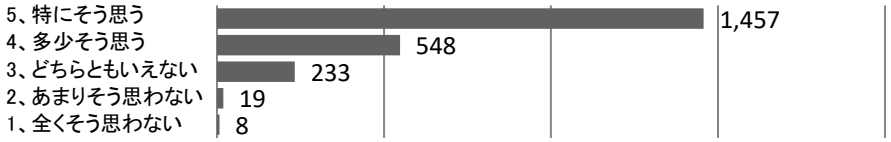
全体集計	南九州大学	
全ｱﾝｹｰﾄ回収数	2,375	人（枚）
実施教員数	58	人

設問7） 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回 答 数 2,364 人
未回答 11
平 均 値 4.16

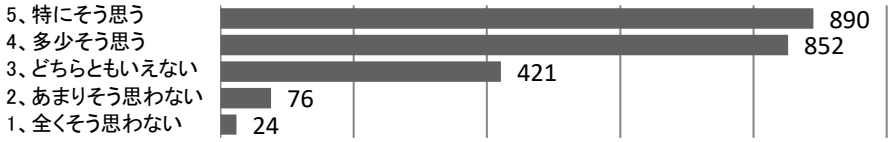
設問8） 教員は熱意を持って授業をしていた



回 答 数 2,367 人
未回答 8
平 均 値 4.32

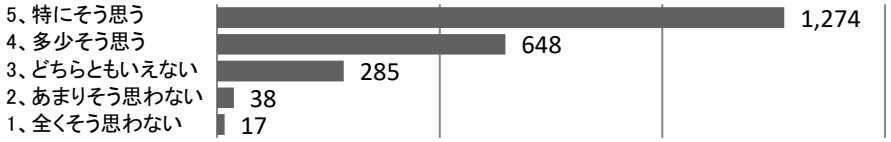
総合的評価

設問9） 私はこの授業内容を理解できた



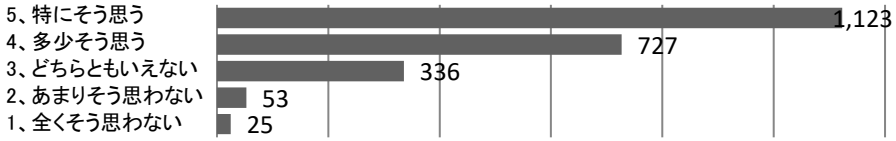
回 答 数 2,365 人
未回答 10
平 均 値 3.93

設問10） 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回 答 数 2,364 人
未回答 11
平 均 値 4.19

設問11） 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回 答 数 2,366 人
未回答 9
平 均 値 4.08

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

南九州大学			
シートNo.	学　科　名	アンケート実施教員数	アンケート回収数（枚）
1	環境園芸	18	714
2	管理栄養	12	734
3	教養・教職センター	7	263
4	子ども教育	14	441
5	食品開発	7	223
	合　計	58	2,375

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	環境園芸	
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	714	（人）
担当教員名	18	

入力箇所

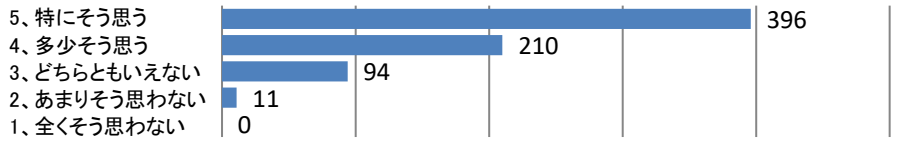
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	396	210	94	11	0	711	4.39	未回答 3
②	140	166	284	53	68	711	3.36	未回答 3
③	202	246	209	35	16	708	3.82	未回答 6
④	418	174	102	14	3	711	4.39	未回答 3
⑤	378	196	98	29	10	711	4.27	未回答 3
⑥	498	148	57	5	2	710	4.60	未回答 4
⑦	412	184	101	11	1	709	4.40	未回答 5
⑧	478	156	71	3	2	710	4.56	未回答 4
⑨	269	284	130	20	4	707	4.12	未回答 7
⑩	372	210	110	8	6	706	4.32	未回答 8
⑪	365	220	108	14	2	709	4.31	未回答 5

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**18**	人
学　科　名	**環境園芸**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**714**	人（枚）

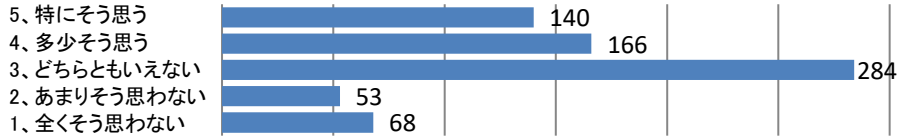
学生の授業取り組みに関する質問

設問1）　私はこの授業によく出席した



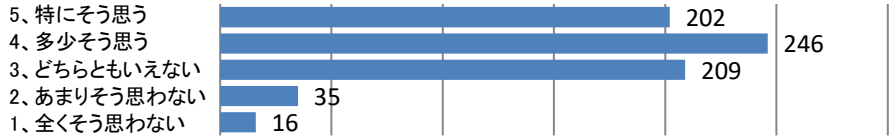
回答数　711　人
3
平均値　4.39

設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回答数　711　人
3
平均値　3.36

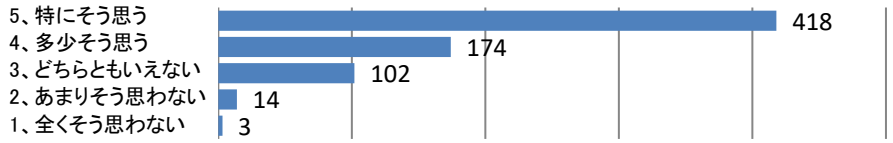
設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）



回答数　708　人
6
平均値　3.82

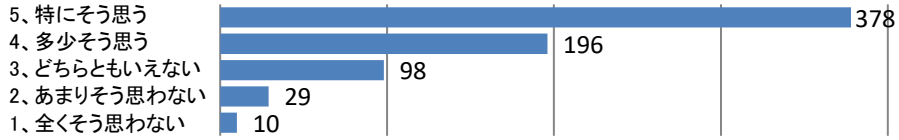
教員の授業実施方法に関する質問

設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



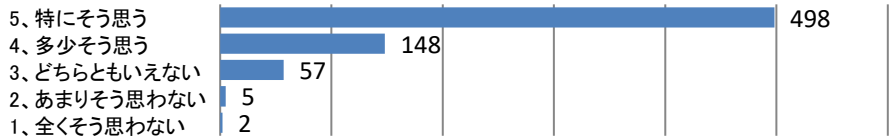
回答数　711　人
3
平均値　4.39

設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回答数　711　人
3
平均値　4.27

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた

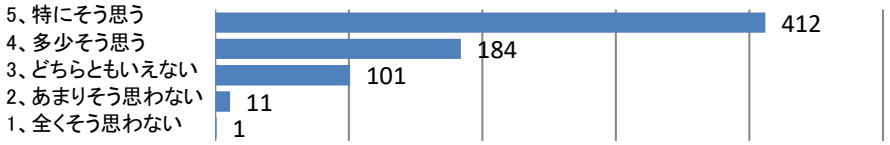


回答数　710　人
4
平均値　4.60

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

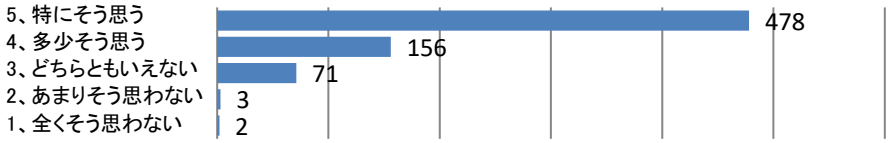
実施教員数	**18**	人
学　科　名	**環境園芸**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**714**	人（枚）

設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　709　人
5
平　均　値　4.40

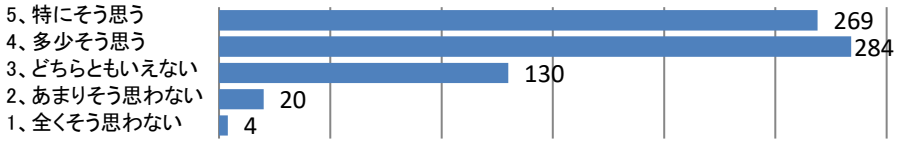
設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた



回　答　数　710　人
4
平　均　値　4.56

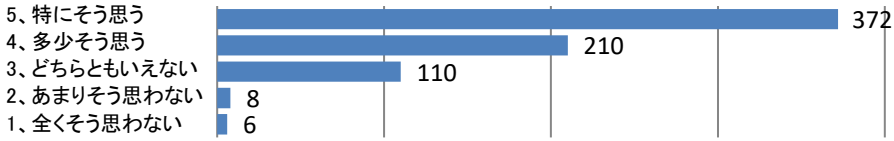
総合的評価

設問9）　私はこの授業内容を理解できた



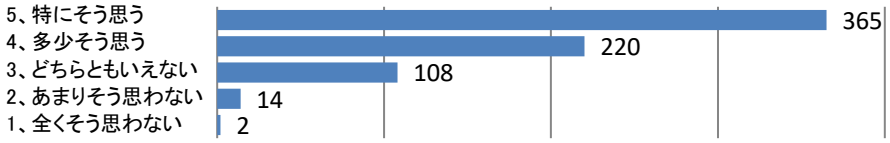
回　答　数　707　人
7
平　均　値　4.12

設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　706　人
8
平　均　値　4.32

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　709　人
5
平　均　値　4.31

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	管理栄養	
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	734	（人）
担当教員名	12	

入力箇所

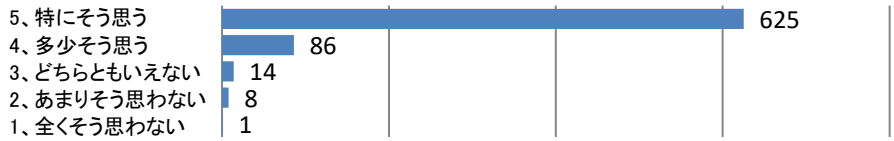
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	625	86	14	8	1	734	4.81	
②	129	166	297	56	86	734	3.27	
③	240	250	179	44	21	734	3.88	
④	456	179	83	11	5	734	4.46	
⑤	381	183	121	38	11	734	4.21	
⑥	567	140	21	3	2	733	4.73	未回答 1
⑦	392	200	110	21	9	732	4.29	未回答 2
⑧	458	200	63	7	4	732	4.50	未回答 2
⑨	292	272	132	28	9	733	4.11	未回答 1
⑩	459	200	55	15	4	733	4.49	未回答 1
⑪	369	238	96	20	10	733	4.28	未回答 1

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**12**	人
学　科　名	**管理栄養**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**734**	人（枚）

学生の授業取り組みに関する質問

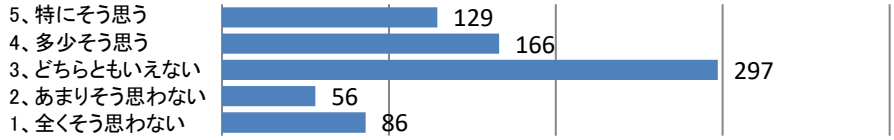
設問1）　私はこの授業によく出席した



回　答　数　734　人

平　均　値　4.81

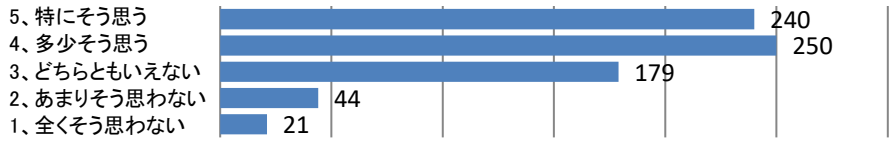
設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回　答　数　734　人

平　均　値　3.27

設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）

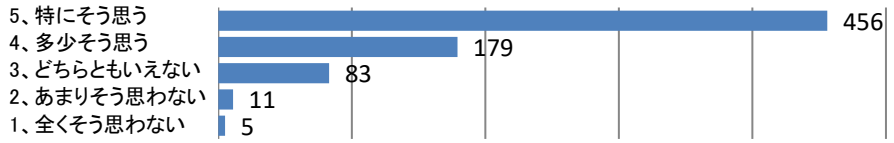


回　答　数　734　人

平　均　値　3.88

教員の授業実施方法に関する質問

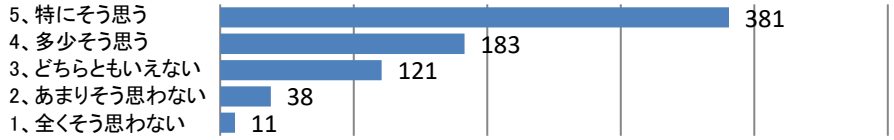
設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



回　答　数　734　人

平　均　値　4.46

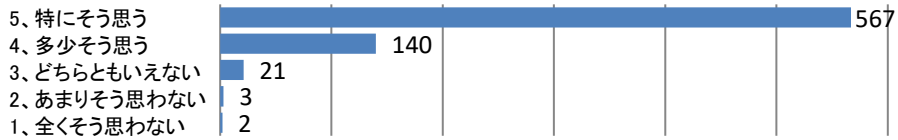
設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回　答　数　734　人

平　均　値　4.21

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



回　答　数　733　人

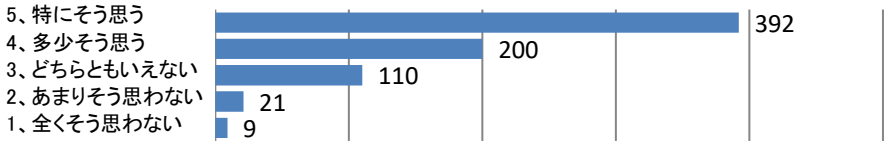
1

平　均　値　4.73

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

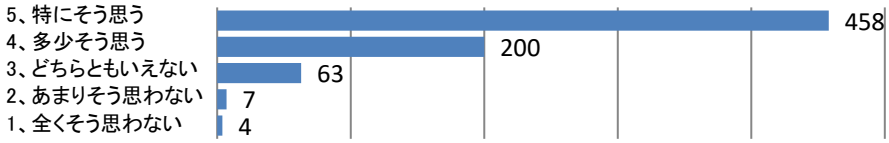
実施教員数	**12**	人
学　科　名	**管理栄養**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**734**	人（枚）

設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　732　人
2
平　均　値　4.29

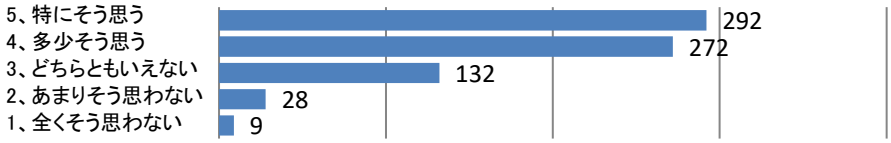
設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた



回　答　数　732　人
2
平　均　値　4.50

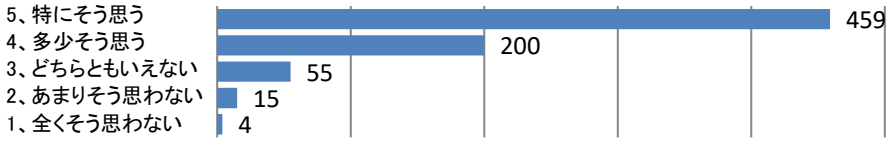
総合的評価

設問9）　私はこの授業内容を理解できた



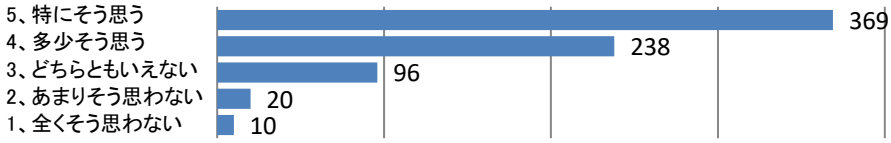
回　答　数　733　人
1
平　均　値　4.11

設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　733　人
1
平　均　値　4.49

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　733　人
1
平　均　値　4.28

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	教養・教職センター	
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	263	（人）
担当教員名	7	

入力箇所

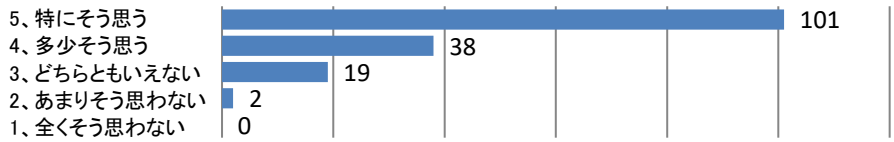
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	101	38	19	2	0	262	2.74	未回答 1
②	38	48	48	14	12	260	2.18	未回答 1
③	39	54	49	11	6	259	2.26	未回答 2
④	87	30	28	12	3	262	2.54	未回答 1
⑤	74	27	37	13	9	262	2.38	未回答 1
⑥	97	32	13	9	9	262	2.59	未回答 1
⑦	98	26	23	5	7	261	2.61	未回答 2
⑧	103	36	20	0	1	262	2.75	未回答 1
⑨	72	46	23	11	8	262	2.45	未回答 1
⑩	77	38	31	8	6	262	2.49	未回答 1
⑪	76	44	23	6	11	262	2.47	未回答 1

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**7**	人
学　科　名	**教養・教職センター**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**263**	人（枚）

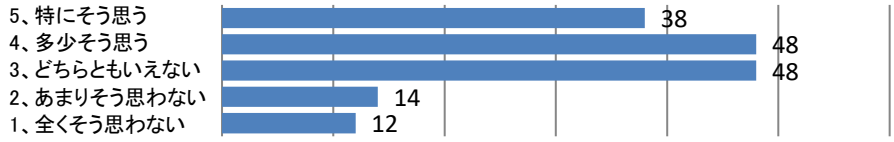
学生の授業取り組みに関する質問

設問1）　私はこの授業によく出席した



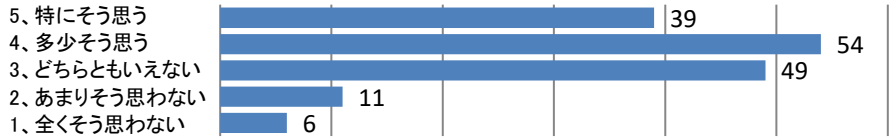
回答数　262　人
1
平均値　2.74

設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回答数　260　人
1
平均値　2.18

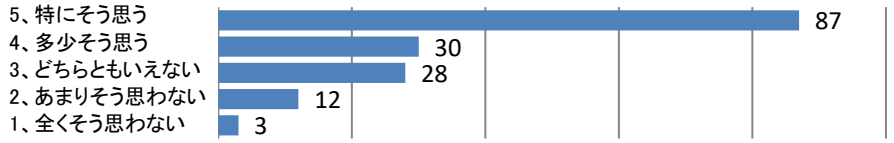
設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）



回答数　259　人
2
平均値　2.26

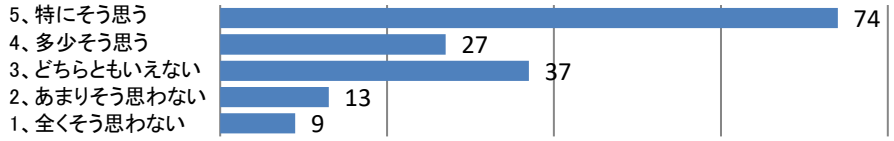
教員の授業実施方法に関する質問

設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



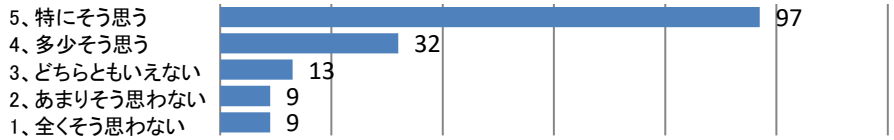
回答数　262　人
1
平均値　2.54

設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回答数　262　人
1
平均値　2.38

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた

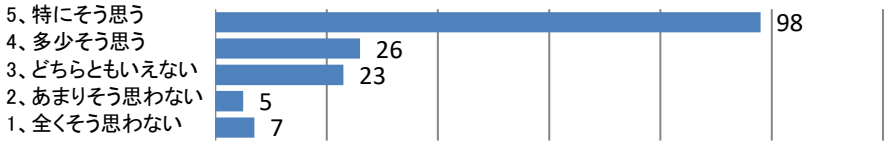


回答数　262　人
1
平均値　2.59

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

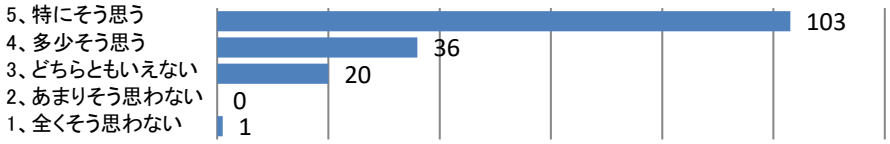
実施教員数	**7**	人
学　科　名	**教養・教職センター**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**263**	人（枚）

設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　261　人
2
平　均　値　2.61

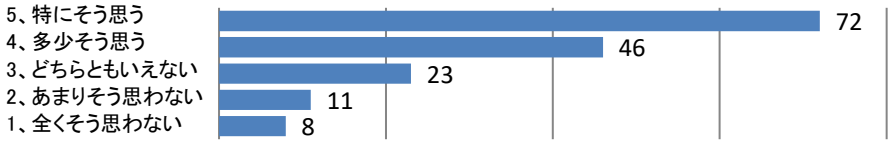
設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた



回　答　数　262　人
1
平　均　値　2.75

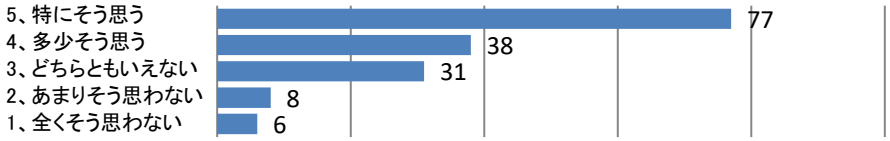
総合的評価

設問9）　私はこの授業内容を理解できた



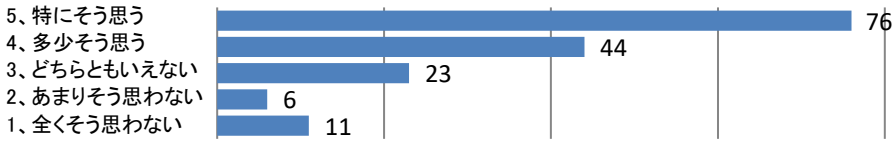
回　答　数　262　人
1
平　均　値　2.45

設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　262　人
1
平　均　値　2.49

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　262　人
1
平　均　値　2.47

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	子ども教育	
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	441	（人）
担当教員名	14	

入力箇所

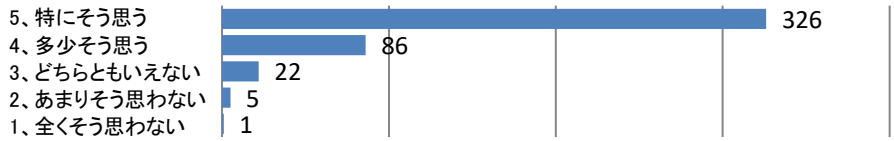
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	326	86	22	5	1	440	4.66	未回答 1
②	121	144	141	21	12	439	3.78	未回答 2
③	158	158	105	13	4	438	4.03	未回答 3
④	328	73	34	4	1	440	4.64	未回答 1
⑤	261	109	52	13	5	440	4.38	未回答 1
⑥	338	64	31	7	0	440	4.67	未回答 1
⑦	303	85	47	2	3	440	4.55	未回答 1
⑧	321	82	33	4	0	440	4.64	未回答 1
⑨	212	159	64	4	1	440	4.31	未回答 1
⑩	285	116	35	4	0	440	4.55	未回答 1
⑪	253	135	45	5	2	440	4.44	未回答 1

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**14**	人
学　科　名	**子ども教育**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**441**	人（枚）

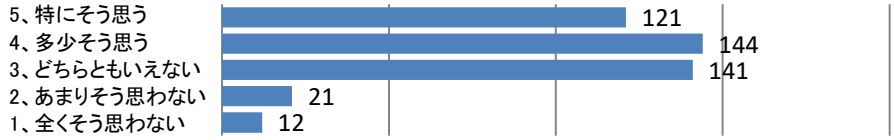
学生の授業取り組みに関する質問

設問1）　私はこの授業によく出席した



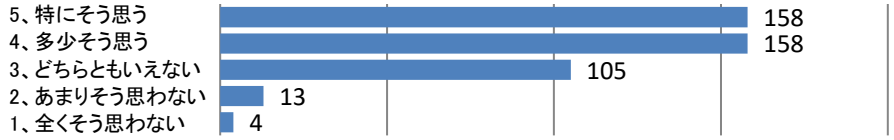
回　答　数　440　人
1
平　均　値　4.66

設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回　答　数　439　人
2
平　均　値　3.78

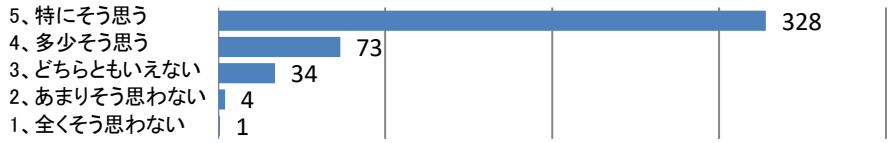
設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）



回　答　数　438　人
3
平　均　値　4.03

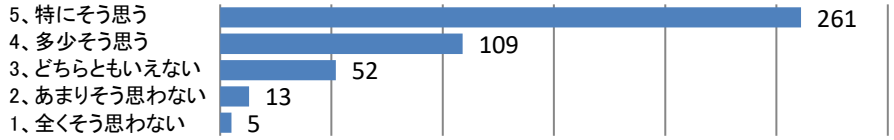
教員の授業実施方法に関する質問

設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



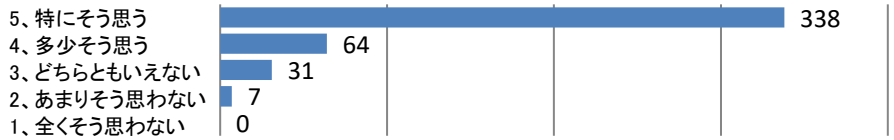
回　答　数　440　人
1
平　均　値　4.64

設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回　答　数　440　人
1
平　均　値　4.38

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた

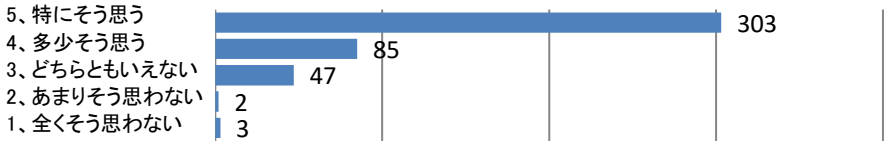


回　答　数　440　人
1
平　均　値　4.67

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

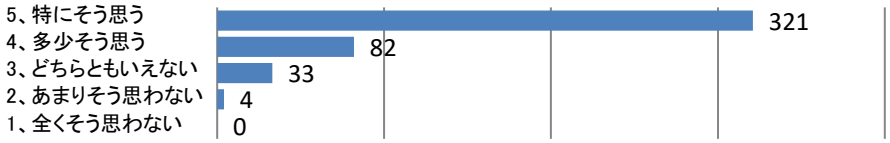
実施教員数	**14**	人
学　科　名	**子ども教育**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**441**	人（枚）

設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　440　人
1
平　均　値　4.55

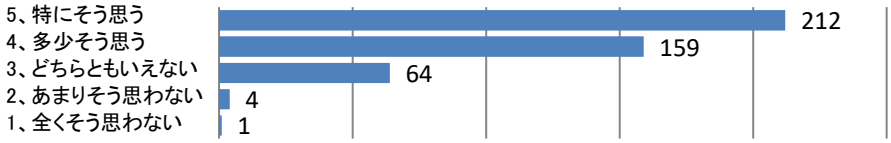
設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた



回　答　数　440　人
1
平　均　値　4.64

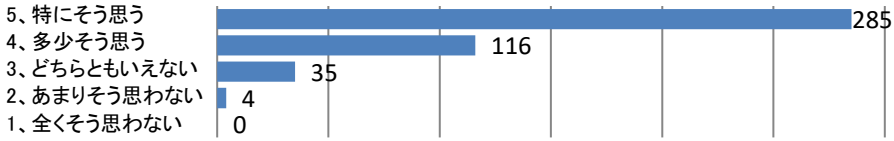
総合的評価

設問9）　私はこの授業内容を理解できた



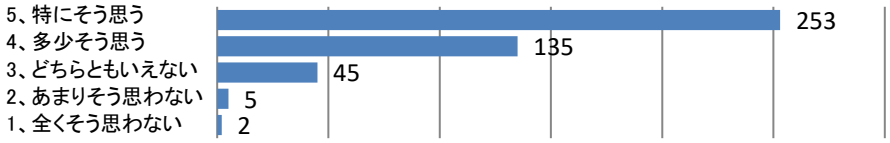
回　答　数　440　人
1
平　均　値　4.31

設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　440　人
1
平　均　値　4.55

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　440　人
1
平　均　値　4.44

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	食品開発	
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	223	（人）
担当教員名	7	

入力箇所

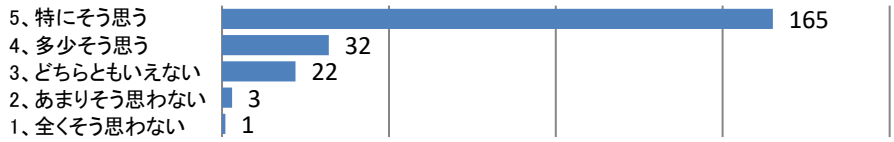
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	165	32	22	3	1	223	4.60	
②	23	41	108	29	22	223	3.06	
③	30	64	106	19	4	223	3.43	
④	102	62	51	6	2	223	4.15	
⑤	87	75	45	14	2	223	4.04	
⑥	140	53	29	1	0	223	4.49	
⑦	89	68	48	15	2	222	4.02	未回答 1
⑧	97	74	46	5	1	223	4.17	
⑨	45	91	72	13	2	223	3.74	
⑩	81	84	54	3	1	223	4.08	
⑪	60	90	64	8	0	222	3.91	未回答 1

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**7**	人
学　科　名	**食品開発**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**223**	人（枚）

学生の授業取り組みに関する質問

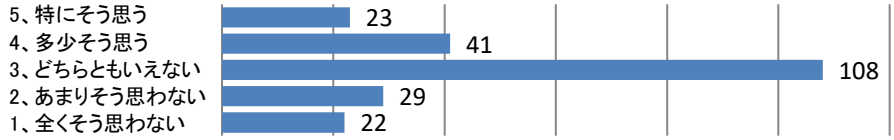
設問1）　私はこの授業によく出席した



回　答　数　223　人

平　均　値　4.60

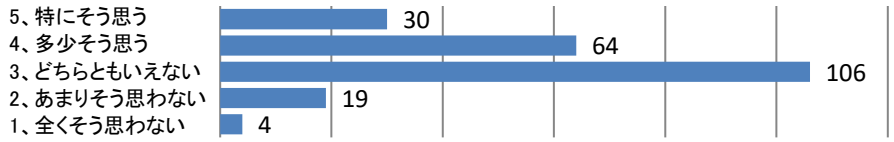
設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回　答　数　223　人

平　均　値　3.06

設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）

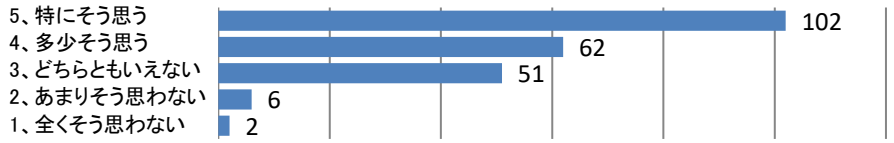


回　答　数　223　人

平　均　値　3.43

教員の授業実施方法に関する質問

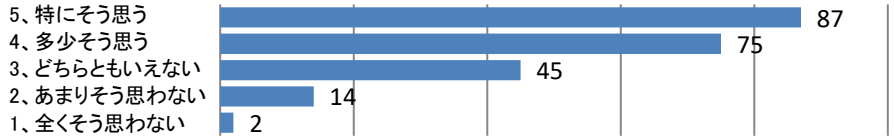
設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



回　答　数　223　人

平　均　値　4.15

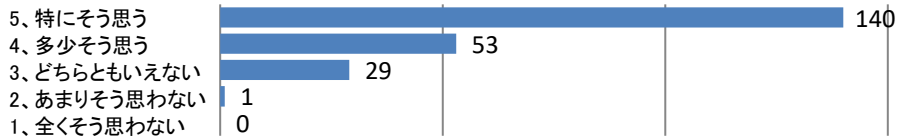
設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回　答　数　223　人

平　均　値　4.04

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



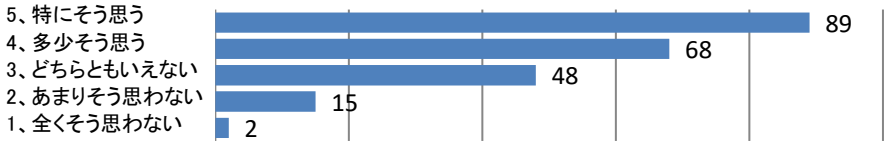
回　答　数　223　人

平　均　値　4.49

令和元年度前期授業評価アンケート集計結果（大学）

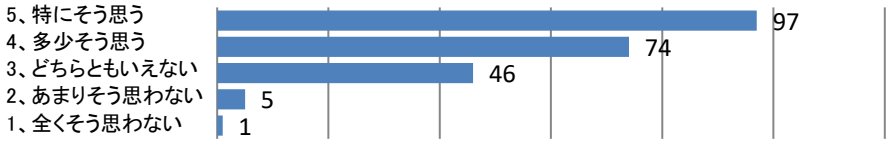
実施教員数	**7**	人
学　科　名	**食品開発**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**223**	人（枚）

設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　222　人
1
平　均　値　4.02

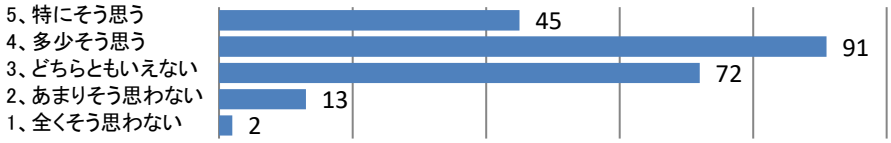
設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた



回　答　数　223　人
平　均　値　4.17

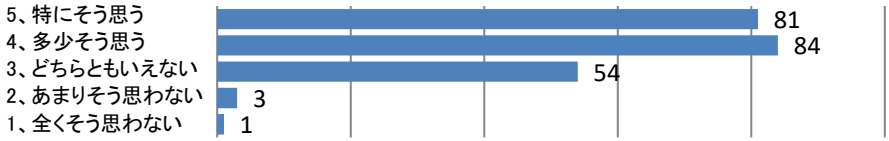
総合的評価

設問9）　私はこの授業内容を理解できた



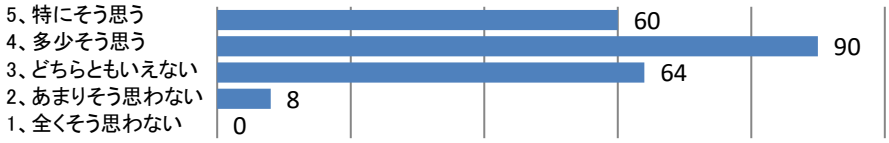
回　答　数　223　人
平　均　値　3.74

設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　223　人
平　均　値　4.08

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　222　人
1
平　均　値　3.91

令和元年度後期　授業評価アンケート集計結果（南九州大学）

対象学科	科目	教員	計	記述有
環境園芸	蔬菜園芸各論	川信修治	36	6
環境園芸	園芸利用学	山口雅篤	35	5
環境園芸	水辺環境論	北村泰一	19	4
環境園芸	植物資源科学	陳蘭庄	117	18
環境園芸	環境保全園芸論	山口健一	54	4
環境園芸	都市計画論	平岡直樹	40	2
環境園芸	農業経済学	姜暻求	12	2
環境園芸	作物学各論Ⅱ	廣瀬大介	8	1
環境園芸	遺伝子工学	菅野善明	22	2
環境園芸	都市緑地論	関西剛康	36	1
環境園芸	自然環境実習	新谷喜紀	36	1
環境園芸	花卉園芸各論	長江嗣朗	21	3
環境園芸	果樹園芸各論	前田隆昭	40	7
環境園芸	樹木医学	日髙英二	26	1
環境園芸	建築学概論	岡島直方	15	1
環境園芸	園芸植物細胞工学	杉田亘	41	2
環境園芸	造園ガーデン材料論	林典生	41	2
環境園芸	庭園学	牧田直子	18	1
管理栄養	臨床栄養学Ⅳ	甲斐敬子	71	4
管理栄養	学校食教育論Ⅰ	杉尾直子	14	0
管理栄養	栄養教育各論Ⅰ	渡邉純子	59	0
管理栄養	からだと疾病Ⅱ	小川恒夫	47	0
管理栄養	生化学Ⅱ	生地暢	60	5
管理栄養	食品学Ⅱ	竹之山愼一	48	6
管理栄養	給食経営管理論実習Ⅰ	山内美智子	62	1
管理栄養	臨床栄養学実習Ⅰ	村上真珠美	62	1
管理栄養	公衆栄養学Ⅰ	長友多恵子	58	12
管理栄養	応用栄養学Ⅰ	小松洋一	57	3
管理栄養	からだと栄養Ⅱ	川北久美子	45	6
管理栄養	健康管理概論	木村志緒	55	7
教養・教職センター	哲学	長友泰潤	45	0
教養・教職センター	生涯スポーツ	西村盛生	31	2
教養・教職センター	特別活動論	岩田賢士	20	0
教養・教職センター	教育社会学(宮崎)	植村秀人	19	11
教養・教職センター	教育社会学(都城)	植村秀人	26	10
教養・教職センター	英会話Ⅰ	スモール・ブライアン	45	0
教養・教職センター	中等教科教育法・理科Ⅰ	秋山繁治	8	1
教養・教職センター	韓国語コミュニケーションⅡ	章大寧	3	0
子ども教育	保育内容指導法(造形表現)(A班)	古賀隆一	19	3
子ども教育	知的障害児の心理・生理・病理	財部盛久	23	0
子ども教育	幼児体育	宮内孝	25	3
子ども教育	教科教育法(理科)	遠藤晃	35	8
子ども教育	相談援助	若宮邦彦	23	1
子ども教育	教科教育法(音楽)	早川純子	34	11
子ども教育	肢体不自由児の心理・生理・病理	野村宗嗣	12	0
子ども教育	算数	趙雪梅	35	4
子ども教育	教育課程論	山田裕司	29	1
子ども教育	社会	酒井喜八郎	6	0
子ども教育	特別支援教育課程論	鳴海正也	25	3
子ども教育	保育内容指導法(言葉)	藤本朋美	36	1
子ども教育	教育心理学	五十嵐亮	50	6
子ども教育	子育て家庭支援論	金子幸	11	0
食品開発	食品の官能評価・鑑別論Ⅰ	山下博	40	4
食品開発	食品機能学	寺原典彦	35	1
食品開発	生物学概論Ⅱ	外山英男	15	4
食品開発	栄養学Ⅱ	紺谷靖英	45	0
食品開発	健康食品概論	中瀬昌之	28	1
食品開発	食品製造学	岡崎善三	36	0
食品開発	食品開発実習Ⅰ	矢野原泰士	35	6
			2,049	189

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

全体集計	南九州大学	
全ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	2,049	（人）
実施教員数	58	（人）

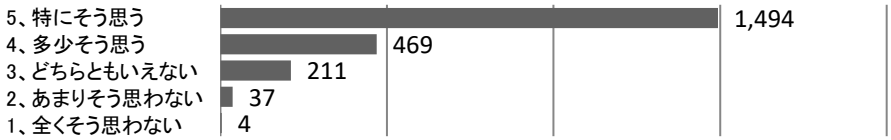
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	1,494	469	211	37	4	2,215	4.54	
②	396	534	926	197	162	2,215	3.36	
③	648	773	662	103	28	2,214	3.86	未回答 1
④	1,277	579	285	62	11	2,214	4.38	未回答 1
⑤	1,123	636	366	68	18	2,211	4.26	未回答 4
⑥	1,615	415	162	15	4	2,211	4.64	未回答 3
⑦	1,288	574	300	41	10	2,213	4.40	未回答 2
⑧	1,512	469	210	15	6	2,212	4.57	未回答 3
⑨	858	897	405	40	15	2,215	4.15	
⑩	1,276	658	243	27	11	2,215	4.43	
⑪	1,101	743	328	29	12	2,213	4.31	未回答 2

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

全体集計	南九州大学	
全ｱﾝｹｰﾄ回収数	2,049	人（枚）
実施教員数	58	人

学生の授業取り組みに関する質問

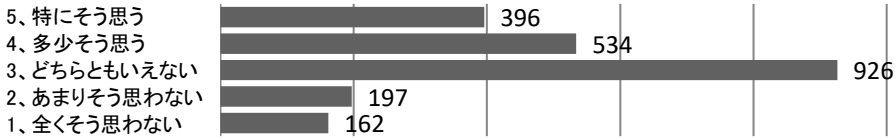
設問1） 私はこの授業によく出席した



回 答 数 2,215 人

平 均 値 4.54

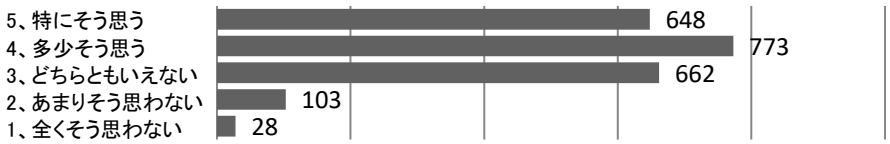
設問2） 私は授業内容について質問や発言をした



回 答 数 2,215 人

平 均 値 3.36

設問3） 私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）



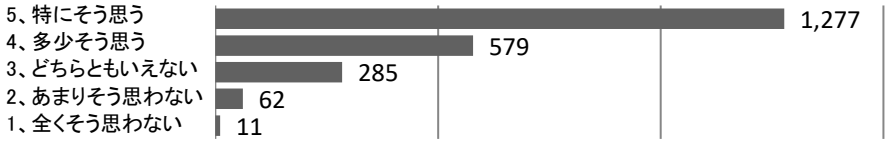
回 答 数 2,214 人

未回答 1

平 均 値 3.86

教員の授業実施方法に関する質問

設問4） 教員の声は聞き取りやすかった

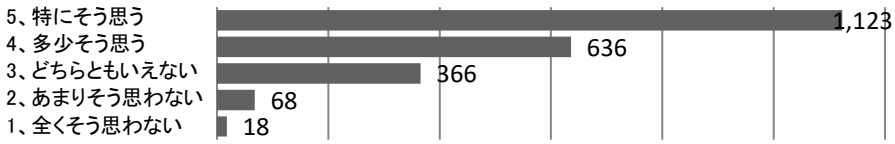


回 答 数 2,214 人

未回答 1

平 均 値 4.38

設問5） 教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）

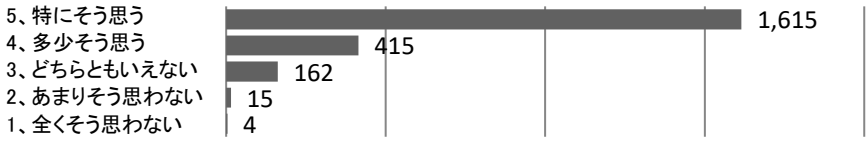


回 答 数 2,211 人

未回答 4

平 均 値 4.26

設問6） 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



回 答 数 2,211 人

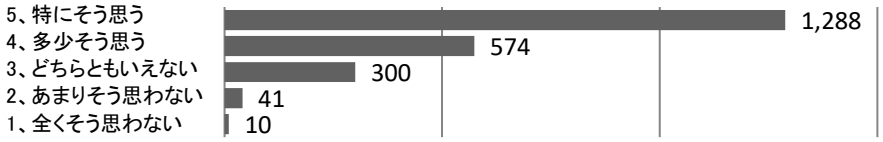
未回答 3

平 均 値 4.64

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

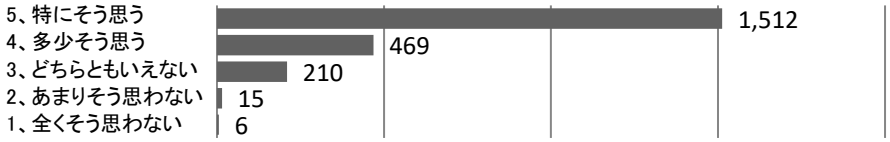
全体集計	南九州大学	
全ｱﾝｹｰﾄ回収数	2,049	人（枚）
実施教員数	58	人

設問7） 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回 答 数 2,213 人
未回答 2
平 均 値 4.40

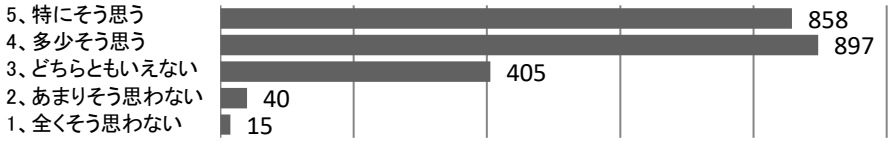
設問8） 教員は熱意を持って授業をしていた



回 答 数 2,212 人
未回答 3
平 均 値 4.57

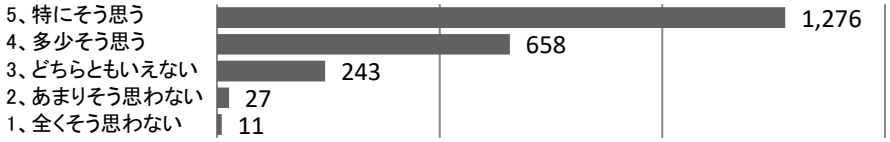
総合的評価

設問9） 私はこの授業内容を理解できた



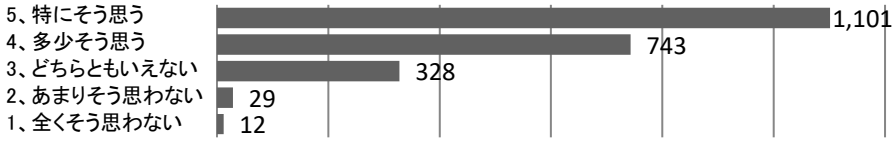
回 答 数 2,215 人
平 均 値 4.15

設問10） 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回 答 数 2,215 人
平 均 値 4.43

設問11） 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回 答 数 2,213 人
未回答 2
平 均 値 4.31

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

南九州大学			
シートNo.	学　科　名	ｱﾝｹｰﾄ実施教員数	ｱﾝｹｰﾄ回収数（枚）
1	環境園芸	18	617
2	管理栄養	12	638
3	教養・教職センター	7	197
4	子ども教育	14	363
5	食品開発	7	234
	合　計	58	2,049

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	環境園芸	
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	617	（人）
担当教員名	18	

入力箇所

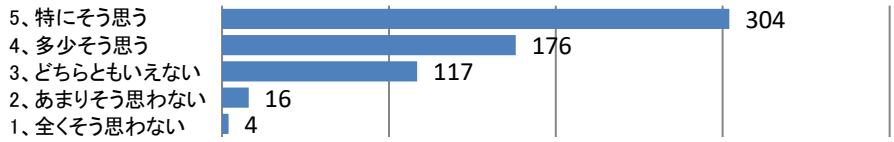
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	304	176	117	16	4	617	4.23	
②	91	127	258	63	78	617	3.15	
③	160	189	215	40	12	616	3.72	未回答 1
④	309	168	109	24	6	616	4.22	未回答 1
⑤	310	171	110	23	3	617	4.24	
⑥	416	121	74	5	0	616	4.54	未回答 1
⑦	340	166	100	10	1	617	4.35	
⑧	405	134	75	3	0	617	4.53	
⑨	211	260	133	9	4	617	4.08	
⑩	285	211	103	15	3	617	4.23	
⑪	294	204	103	10	4	615	4.26	未回答 2

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**18**	人
学　科　名	**環境園芸**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**617**	人（枚）

学生の授業取り組みに関する質問

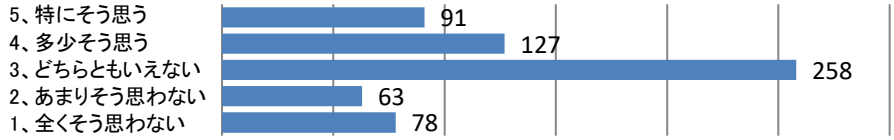
設問1）　私はこの授業によく出席した



回　答　数　617　人

平　均　値　4.23

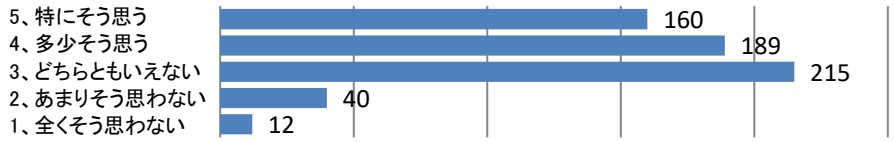
設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回　答　数　617　人

平　均　値　3.15

設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）

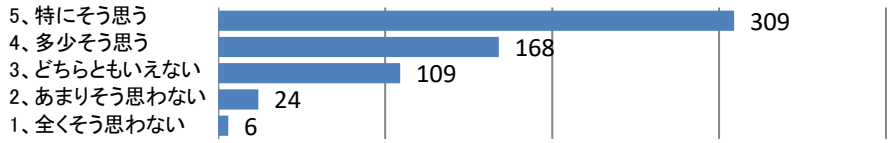


回　答　数　616　人
1

平　均　値　3.72

教員の授業実施方法に関する質問

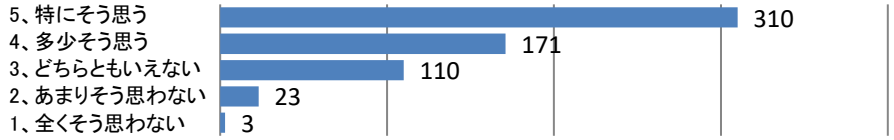
設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



回　答　数　616　人
1

平　均　値　4.22

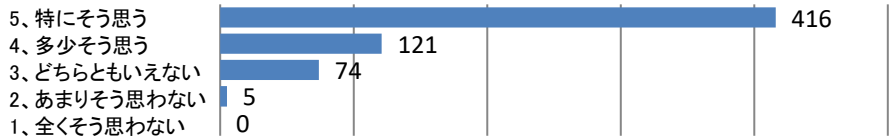
設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回　答　数　617　人

平　均　値　4.24

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



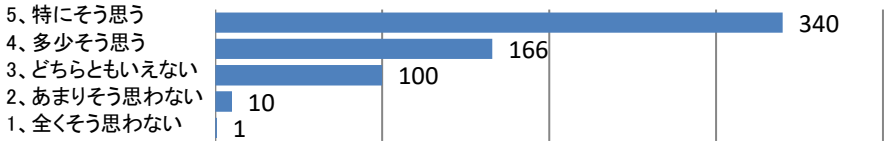
回　答　数　616　人
1

平　均　値　4.54

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**18**	人
学　科　名	**環境園芸**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**617**	人（枚）

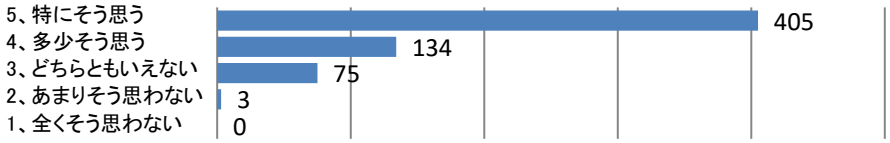
設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　617　人

平　均　値　4.35

設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた

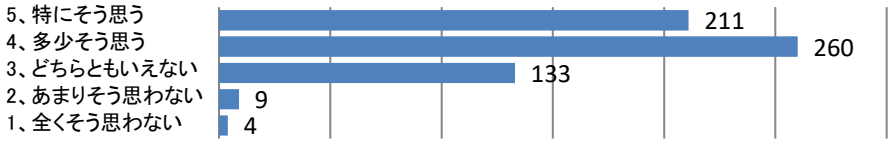


回　答　数　617　人

平　均　値　4.53

総合的評価

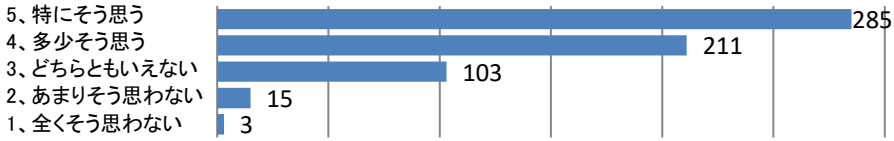
設問9）　私はこの授業内容を理解できた



回　答　数　617　人

平　均　値　4.08

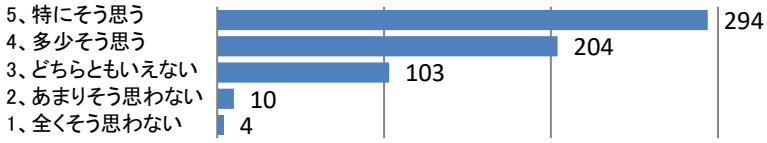
設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　617　人

平　均　値　4.23

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　615　人

2

平　均　値　4.26

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	管理栄養	
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	638	（人）
担当教員名	12	

入力箇所

設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値
①	528	89	13	8	0	638	4.78
②	87	146	284	74	47	638	3.24
③	201	257	151	26	3	638	3.98
④	412	155	54	17	0	638	4.51
⑤	353	179	88	16	2	638	4.36
⑥	522	97	16	3	0	638	4.78
⑦	389	175	62	9	1	636	4.48
⑧	476	131	28	3	0	638	4.69
⑨	282	264	80	8	4	638	4.27
⑩	456	155	23	3	1	638	4.66
⑪	369	203	57	7	2	638	4.46

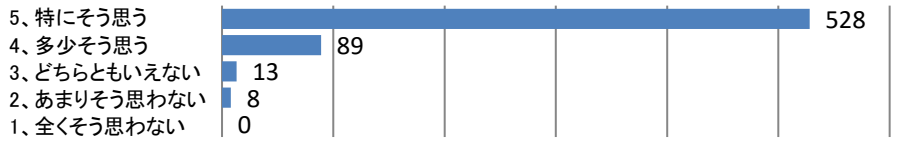
未回答 2

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**12**	人
学　科　名	**管理栄養**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**638**	人（枚）

学生の授業取り組みに関する質問

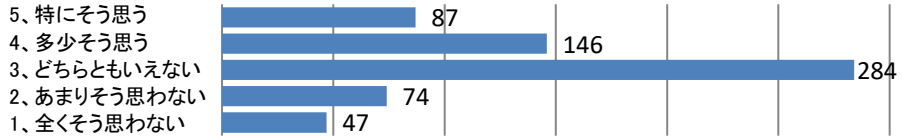
設問1）　私はこの授業によく出席した



回　答　数　638　人

平　均　値　4.78

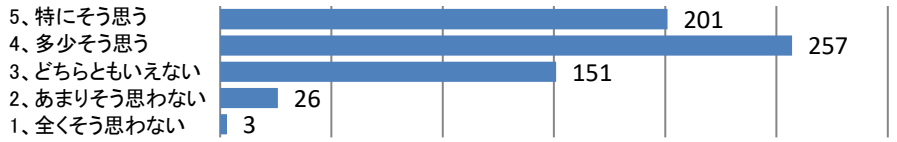
設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回　答　数　638　人

平　均　値　3.24

設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）

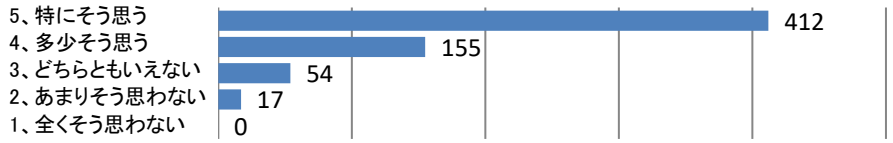


回　答　数　638　人

平　均　値　3.98

教員の授業実施方法に関する質問

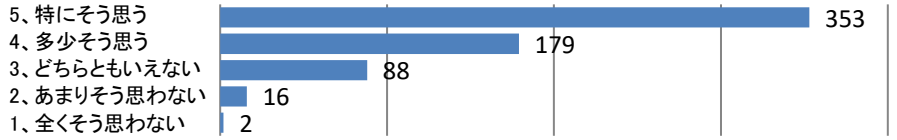
設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



回　答　数　638　人

平　均　値　4.51

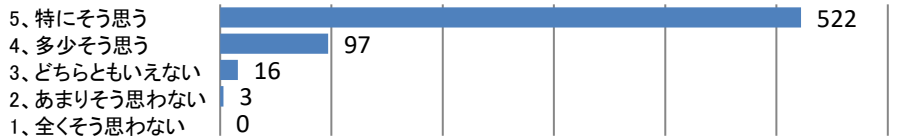
設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回　答　数　638　人

平　均　値　4.36

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



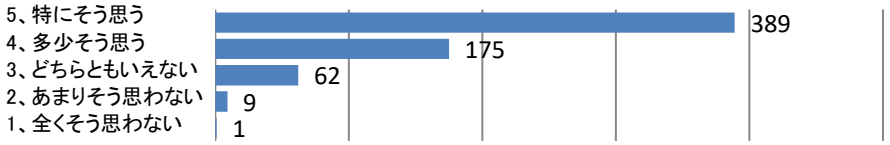
回　答　数　638　人

平　均　値　4.78

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

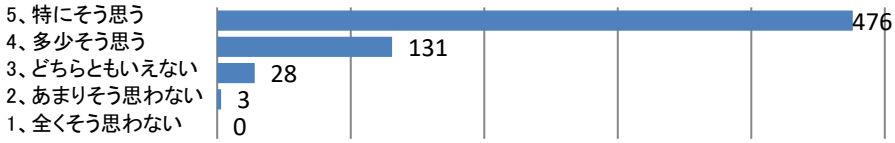
実施教員数	**12**	人
学　科　名	**管理栄養**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**638**	人（枚）

設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　636　人
2
平　均　値　4.48

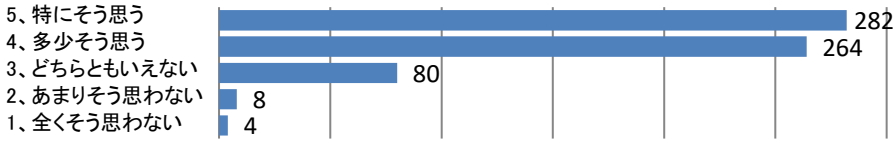
設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた



回　答　数　638　人
平　均　値　4.69

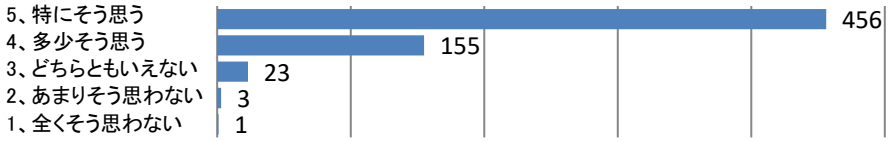
総合的評価

設問9）　私はこの授業内容を理解できた



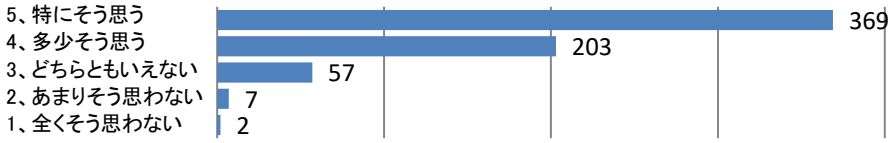
回　答　数　638　人
平　均　値　4.27

設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　638　人
平　均　値　4.66

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　638　人
平　均　値　4.46

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	教養・教職センター		
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	197	（人）	
担当教員名	7		

入力箇所

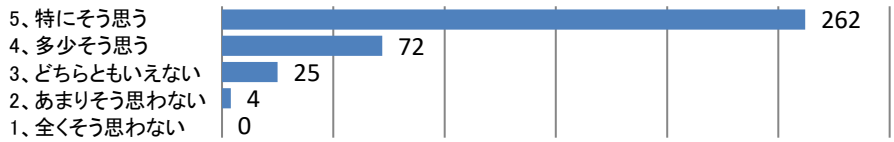
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	262	72	25	4	0	363	4.63	
②	92	109	132	19	11	363	3.69	
③	115	128	103	12	5	363	3.93	
④	226	90	39	7	1	363	4.47	
⑤	183	100	62	12	4	361	4.24	未回答 2
⑥	267	70	22	1	2	362	4.65	未回答 1
⑦	227	82	44	6	4	363	4.44	
⑧	250	74	34	2	2	362	4.57	未回答 1
⑨	146	138	68	8	3	363	4.15	
⑩	211	110	36	3	3	363	4.44	
⑪	173	126	57	5	2	363	4.28	

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**7**	人
学　科　名	**教養・教職センター**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**197**	人（枚）

学生の授業取り組みに関する質問

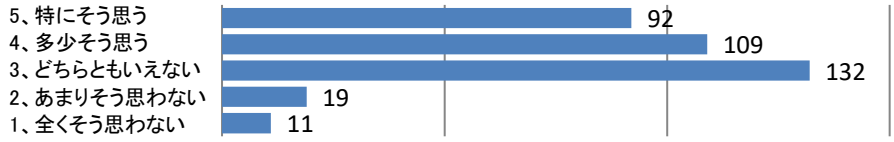
設問1）　私はこの授業によく出席した



回　答　数　363　人

平　均　値　4.63

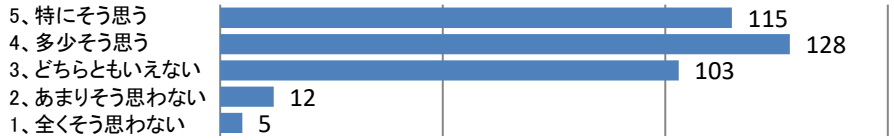
設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回　答　数　363　人

平　均　値　3.69

設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）

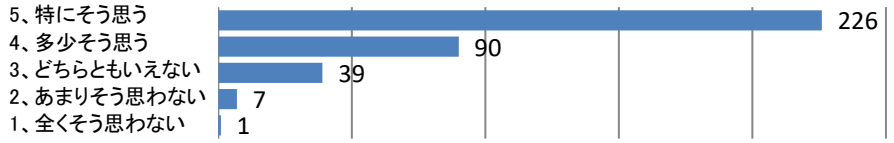


回　答　数　363　人

平　均　値　3.93

教員の授業実施方法に関する質問

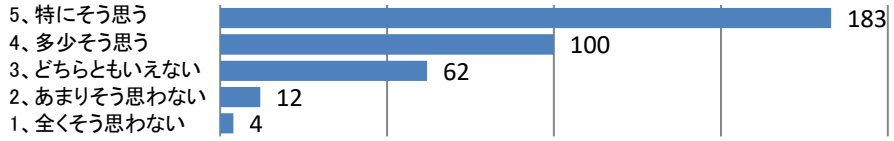
設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



回　答　数　363　人

平　均　値　4.47

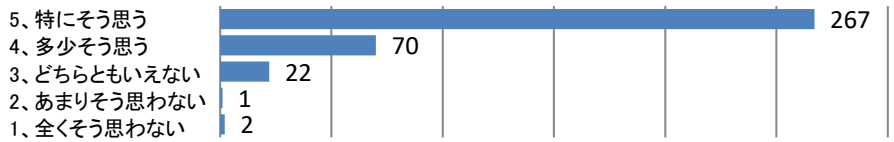
設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回　答　数　361　人
2

平　均　値　4.24

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



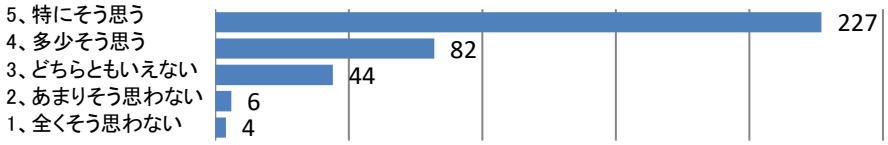
回　答　数　362　人
1

平　均　値　4.65

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**7**	人
学　科　名	**教養・教職センター**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**197**	人（枚）

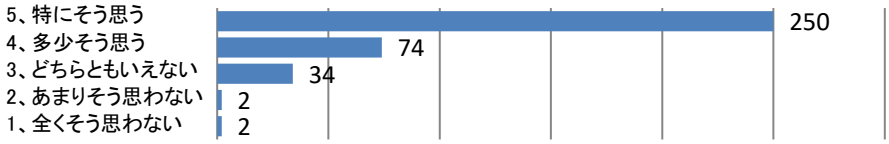
設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　363　人

平　均　値　4.44

設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた

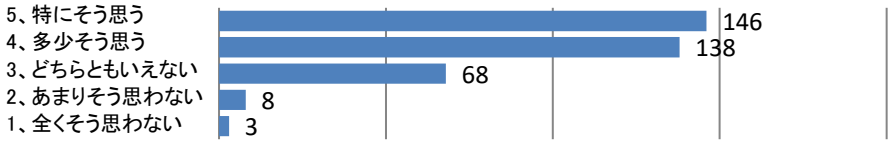


回　答　数　362　人
1

平　均　値　4.57

総合的評価

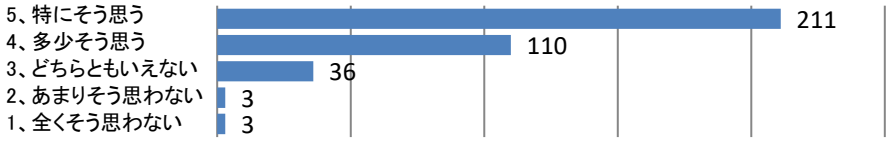
設問9）　私はこの授業内容を理解できた



回　答　数　363　人

平　均　値　4.15

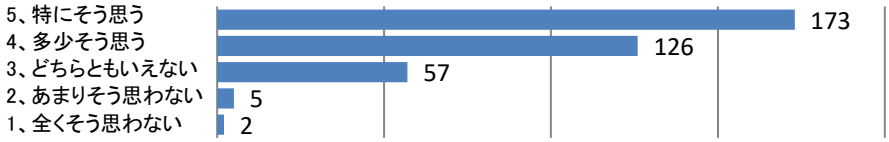
設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　363　人

平　均　値　4.44

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　363　人

平　均　値　4.28

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	子ども教育	
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	363	（人）
担当教員名	14	

入力箇所

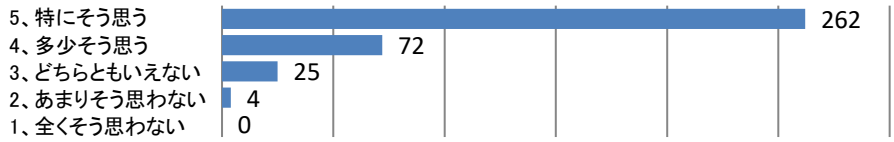
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	262	72	25	4	0	363	4.63	
②	92	109	132	19	11	363	3.69	
③	115	128	103	12	5	363	3.93	
④	226	90	39	7	1	363	4.47	
⑤	183	100	62	12	4	361	4.24	未回答 2
⑥	267	70	22	1	2	362	4.65	
⑦	227	82	44	6	4	363	4.44	
⑧	250	74	34	2	2	362	4.57	未回答 1
⑨	146	138	68	8	3	363	4.15	
⑩	211	110	36	3	3	363	4.44	
⑪	173	126	57	5	2	363	4.28	

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**14**	人
学　科　名	**子ども教育**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**363**	人（枚）

学生の授業取り組みに関する質問

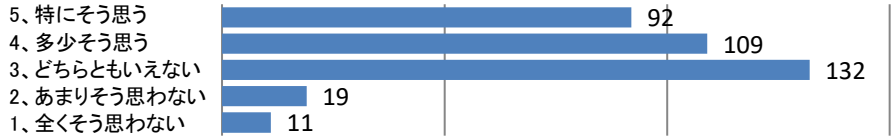
設問1）　私はこの授業によく出席した



回　答　数　363　人

平　均　値　4.63

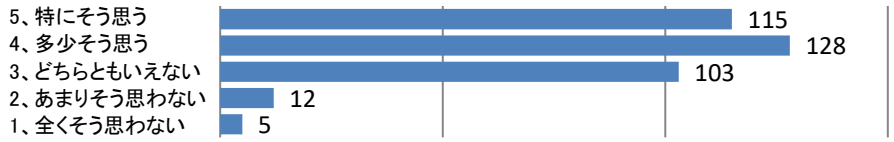
設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回　答　数　363　人

平　均　値　3.69

設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）

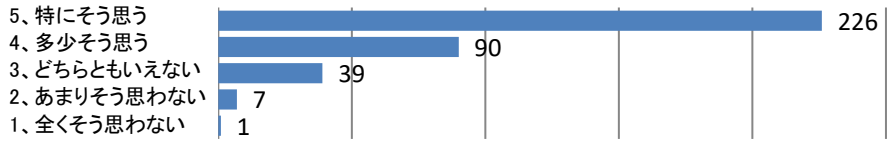


回　答　数　363　人

平　均　値　3.93

教員の授業実施方法に関する質問

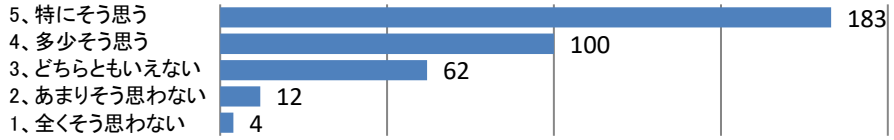
設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



回　答　数　363　人

平　均　値　4.47

設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）

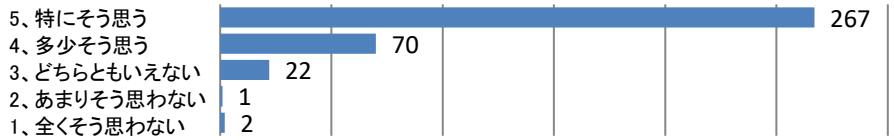


回　答　数　361　人

2

平　均　値　4.24

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



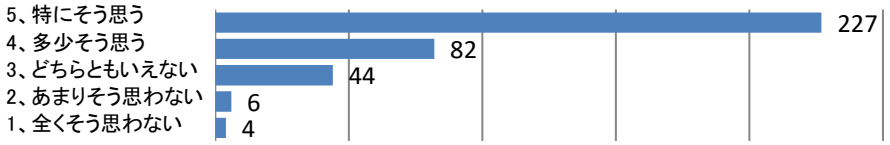
回　答　数　362　人

平　均　値　4.65

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**14**	人
学　科　名	**子ども教育**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**363**	人（枚）

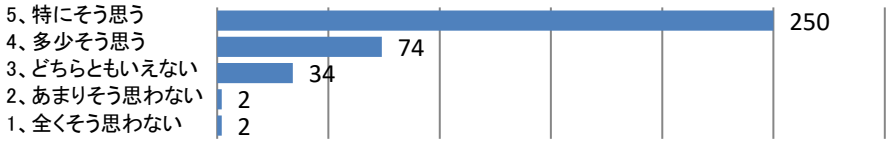
設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　363　人

平　均　値　4.44

設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた



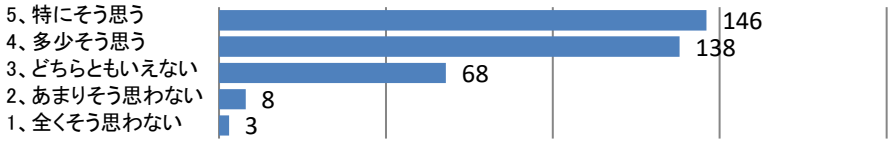
回　答　数　362　人

1

平　均　値　4.57

総合的評価

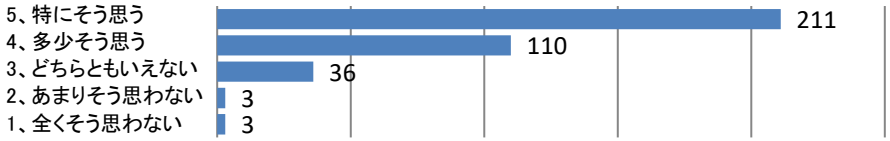
設問9）　私はこの授業内容を理解できた



回　答　数　363　人

平　均　値　4.15

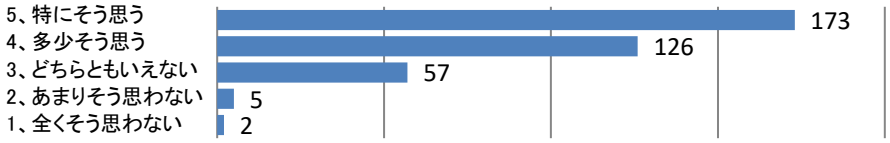
設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　363　人

平　均　値　4.44

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　363　人

平　均　値　4.28

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

科目名	食品開発	
ｱﾝｹｰﾄ回収数(枚)	234	（人）
担当教員名	7	

入力箇所

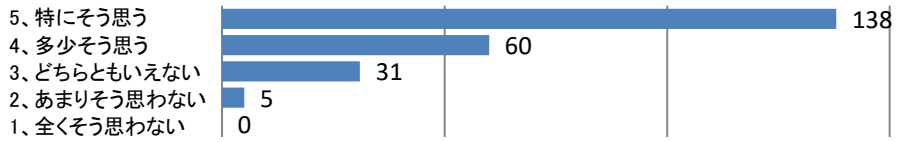
設問番号	回答欄 5	4	3	2	1	回答数（人）	平均値	
①	138	60	31	5	0	234	4.41	
②	34	43	120	22	15	234	3.25	
③	57	71	90	13	3	234	3.71	
④	104	76	44	7	3	234	4.16	
⑤	94	86	44	5	5	234	4.11	
⑥	143	57	28	5	0	233	4.45	未回答 1
⑦	105	69	50	10	0	234	4.15	
⑧	131	56	39	5	2	233	4.33	未回答 1
⑨	73	97	56	7	1	234	4.00	
⑩	113	72	45	3	1	234	4.25	
⑪	92	84	54	2	2	234	4.12	

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**7**	人
学　科　名	**食品開発**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**234**	人（枚）

学生の授業取り組みに関する質問

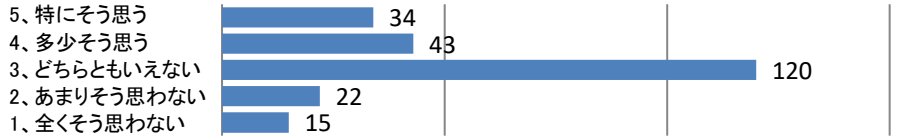
設問1）　私はこの授業によく出席した



回　答　数　234　人

平　均　値　4.41

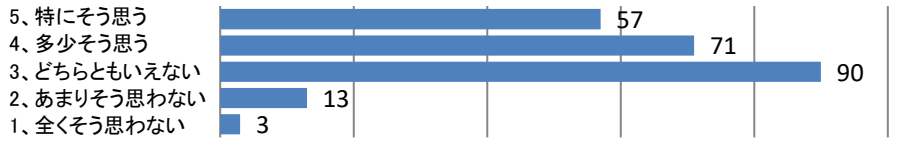
設問2）　私は授業内容について質問や発言をした



回　答　数　234　人

平　均　値　3.25

設問3）　私はこの科目に積極的に取り組んだ（予習や復習をした）

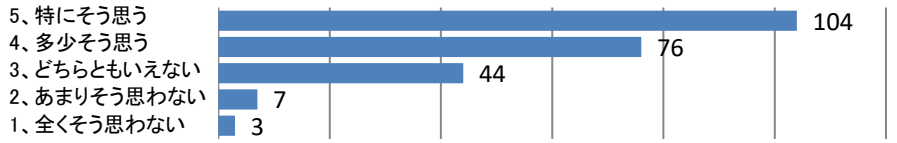


回　答　数　234　人

平　均　値　3.71

教員の授業実施方法に関する質問

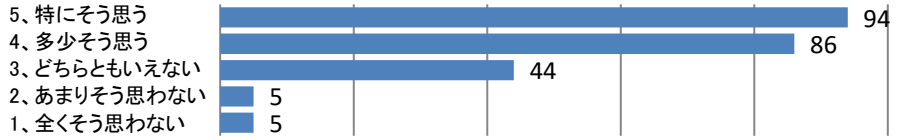
設問4）　教員の声は聞き取りやすかった



回　答　数　234　人

平　均　値　4.16

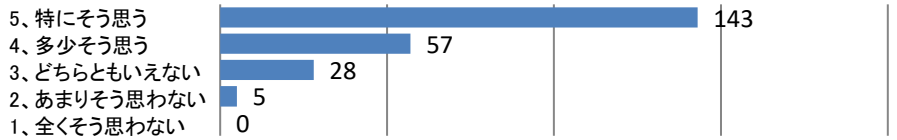
設問5）　教員の板書（またはPPT・配付資料等）は読みやすかった（見やすかった）



回　答　数　234　人

平　均　値　4.11

設問6）　教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



回　答　数　233　人

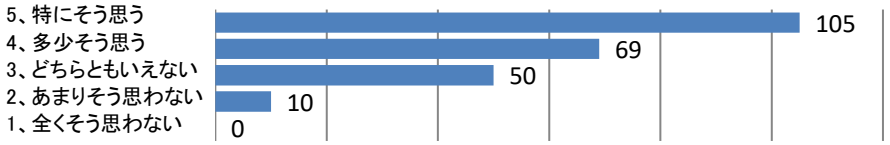
1

平　均　値　4.45

令和元年度後期授業評価アンケート集計結果（大学）

実施教員数	**7**	人
学　科　名	**食品開発**	
ｱﾝｹｰﾄ回収数	**234**	人（枚）

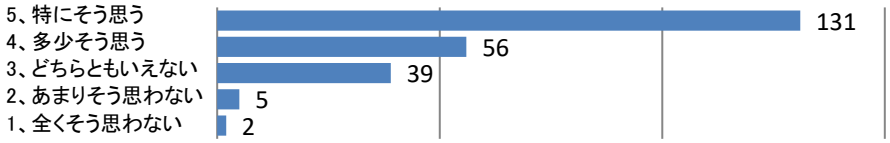
設問7）　教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回　答　数　234　人

平　均　値　4.15

設問8）　教員は熱意を持って授業をしていた



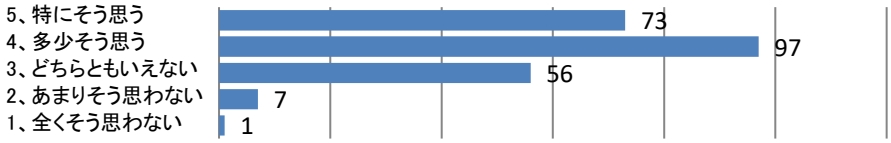
回　答　数　233　人

1

平　均　値　4.33

総合的評価

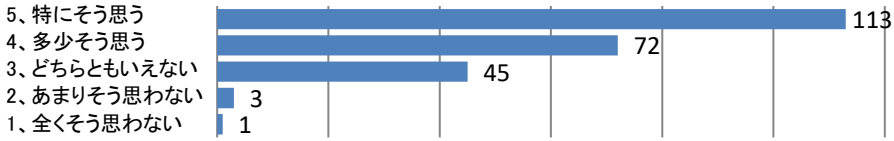
設問9）　私はこの授業内容を理解できた



回　答　数　234　人

平　均　値　4.00

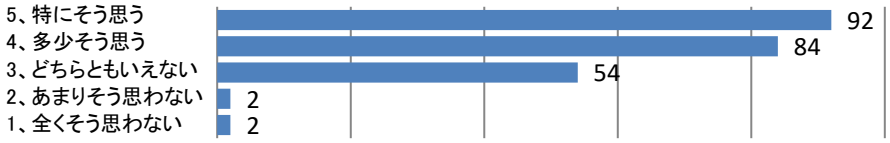
設問10）　私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回　答　数　234　人

平　均　値　4.25

設問11）　私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回　答　数　234　人

平　均　値　4.12

５．卒業予定者満足度調査

平成 24 年度からの新規事業として「新入生魅力度調査・卒業者満足度調査」を実施した。なお、平成 27 年度より、卒業者満足度調査を卒業予定者満足度調査と呼び方を変更した。今年度は、平成 24 年度以降に行った「新入生魅力度調査」及び「卒業生満足度調査」のうち、これまで FD 活動の一環として実施してきた「新入生魅力度調査」については、調査内容が教員の授業力向上を目的とする FD 活動の趣旨と必ずしも一致しないことから、今年度は 「卒業予定者満足度調査」のみ実施し、その結果を各学科と学園全体で共有しています。

令和元年度 卒業予定者満足度調査の実施要領

目的

本学の学生がどのような点に満足を感じ、あるいは不満を感じて卒業して行くかをアンケートにより調査する。本アンケートの結果は、各学科における教育活動及び研究活動は もとより、広報活動にも利用することができ、また、学園 運営の方向性を示すための参考にもなる。

対象

令和元年度（令和 2 年 3 月）卒業予定者全員 を対象に実施した 。

実施方法

作成したアンケートを 各学科の FD 推進委員を通して 紙媒体で配布、回収した。

アンケート項目

アンケートでは、「教育研究に対する設問」、「学習・生活支援に対する設問」、「施設・設備に対する設問」を設けた。

アンケートの集計

集計は外部に委託して集計した。

卒業予定者満足度調査報告

令和元年度卒業予定者満足度調査結果については、次項をご参照ください。

令和元年度　卒業生満足度調査アンケート学科別集計表

学科名　　全学科

【学習・生活支援に対する設問】

設問内容	回答番号						回答数（人）	平均値
	5	4	3	2	1	未回答		
①あなたは南九州大学の「”学生支援課”があり当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。	77	84	45	10	2	1	218	4.03
②あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度満足しましたか。	72	87	47	11	1	1	218	4.00
③あなたは南九州大学の「”保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。	67	87	55	7	2	1	218	3.96
④あなたは南九州大学の「”生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかってくれている」点にどの程度満足しましたか。	93	85	31	4	5	1	218	4.18
⑤あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度満足しましたか。	38	44	113	6	15	3	216	3.39
⑥あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。	60	85	49	13	11	1	218	3.78
⑦あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度満足しましたか。	58	84	44	21	10	2	217	3.73
⑧あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度満足しましたか。	68	65	71	6	8	1	218	3.82
⑨あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。	54	74	66	14	10	1	218	3.68

令和元年度　卒業生満足度調査アンケート学科別集計表

学科名　　全学科

【教育研究に対する設問】

設問内容	回答番号						回答数（人）	平均値
	5	4	3	2	1	未回答		
①あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。	67	105	37	9	1		219	4.04
②あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度満足しましたか。	45	108	52	10	4		219	3.82
③あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。	55	106	50	6	2		219	3.94
④あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。	64	102	37	12	3	1	218	3.97
⑤あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。	47	89	59	17	7		219	3.69

令和元年度　卒業生満足度調査アンケート学科別集計表

学科名　　全学科

【施設・設備に対する設問】

設問内容	回答番号						回答数（人）	平均値
	5	4	3	2	1	未回答		
①あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度満足しましたか。	59	90	58	6	4	2	217	3.89
②あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内LANの充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度満足しましたか。	57	79	43	22	18		219	3.62
③あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。	100	75	37	5	1	1	218	4.23
④あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。	56	79	59	14	11		219	3.71
⑤あなたは南九州大学の「体育館・グランドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度満足しましたか。	50	88	59	15	7		219	3.73
⑥あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度満足しましたか。	67	86	38	16	12		219	3.82

６．FD 講演会報告

FD 推進委員会では、平成 22 年度から教員の授業力向上、および FD 活動に対する理解及び FD 活動の推進のため、FD 講演会を実施している。令和元年度においては下記の要領で研修会を開催した。

令和元年度 南九州大学 FD 研修会①

日時：	令和元年 10 月 10 日（木）　16：30～18：00（1 時間 30 分）
会場：	宮崎キャンパス+都城キャンパス（テレビ会議方式）
講師：	鈴木 克明 先生 熊本大学大学院社会文化科学研究科教授
演題：	授業改善のためのインストラクショナルデザイン
対象：	大学・短大全教職員
主催：	南九州大学 FD 推進委員会
共催：	南九州短期大学 FD 推進委員会・南九州学園職員資質向上委員会

講師

鈴木 克明 先生 熊本大学大学院社会文化科学研究科教授

【専門】

教育工学 ／　教授システム学

【学会】

日本医療教授システム学会(JSISH) ／教育システム情報学会 ／日本教育工学会 ／日本教育メディア学会 ／米国教育コミュニケーション・工学会(AECT)

参加者数

７１人

令和元年度 南九州大学 FD 研修会②

日時：	令和 2 年 2 月 17 日（月）　13：00～14：30（1 時間 30 分）
会場：	宮崎キャンパス+都城キャンパス（テレビ会議方式）
講師：	茂木 脩佑 氏 株式会社ＣＡＰＳＬアシスト代表
演題：	授業における情報保障のあり方について－高度情報機器を活用して－
対象：	大学・短大全教職員
主催：	南九州大学 FD 推進委員会
共催：	南九州短期大学 FD 推進委員会・南九州学園職員資質向上委員会

参加者数

５７人

7．今後の FD 活動について

本学で FD 活動の 取り組みを始めて 10 年が経過した今、此れ迄の 各 事業や取り組みが形骸化しないよう、 絶えず検証を行うとともに、 新しい活動や企画を積極的に考案、実施し、FD 活動を推進させることが重要であると考えられる。また、南九州短期大学の FD 活動ならびに南九州学園職員資質向上推進委員会といっそう連携し、南九州学園全体の教育力を高めていく。